

●R7年度に重点的に取り組む課題に応じた目標及び評価

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
家庭環境の多様化や地域社会のつながりの希薄化等を背景として、子どもの育ちの基盤である家庭教育において、保護者が不安を抱えたまま孤立しやすい傾向にある。	親子で集まれる場（イベントなど）を複数回開催し、家庭教育支援チームの周知を図るとともに、保護者同士でのコミュニケーションの促進を図る。	保護者への家庭訪問などによる相談対応及び家庭教育広報紙作成・配布による啓発活動を通して、保護者に寄り添い、気軽に相談できる環境を整える。	家庭教育支援チーム及びその支援員が地域の保護者に広く周知され、保護者自らが自発的に相談できる関係性を構築する。	保護者が自発的に家庭教育支援チームに相談した件数	0	件	24	18	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 家庭訪問による保護者へのアプローチやイベント（子育てカフェなど）の実施により、家庭教育支援チームを継続的に周知し、関係性を強めていく必要がある。保護者が集える場の提供など、引き続き保護者が相談しやすい場づくりを行っていく必要がある。